

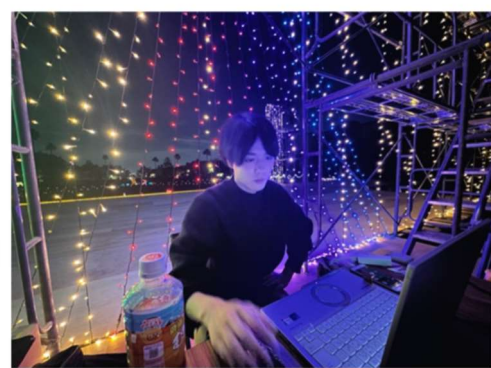
## 時計台がいつもと違う！見たことのない光景！ 新月祭マッピングの技術提供

関西学院大学アカデミックコモンズプロジェクトの SHADECOR は 2023 年 11 月 5 日（日）に関西学院大学上ヶ原キャンパスの時計台にてプロジェクションマッピングの投影技術提供を行いました。



新月祭 2023 イルミネーションの様子

今回は映像制作を SHADECOR にて行うことはありませんでしたが、新月祭実行委員会の制作された映像作品を私たちの力で魅力を最大限に引き出すことができたと考えております。この本番を迎えるまでに約 1 か月前の 10 月 11 日（水）、10 月 25 日（水）の 2 日間に渡り新月祭実行委員会の方々と協力し、イルミネーションのリハーサルを行っておりました。リハーサル時には点灯のタイミングやマッピングの型合わせなど様々な問題もありましたが、それぞれで問題点を修正し、新月祭当日 11 月 5 日（日）の本番、沢山の来場者がトリであるイルミネーションの会場に集まりました。そして、多くの人が待つ前でプロジェクションマッピングの投影を行い、投影が終了すると同時に会場全体のイルミネーションが点灯しました。点灯した瞬間、会場から大きな歓声が湧き上がり、その後多くの来場者の方々がイルミネーションの終了時刻まで写真撮影を楽しんでおられました。



投影作業を行う SHADECOR 代表（末廣大樹）

今回、映像制作を担当された方である新月祭実行委員会の木村泰己さん（社会学部 1 回生）は、「映像制作の裏側が中々伝わることはないと思いますし、みんなが満足してくれるのか、心配だったが成功してほっとしている。」おっしゃっておいりました。

また、同じく映像制作を担当された南柊成さん（法学部 1 回生）は「元々動画編集等に興味があり、希望調査でも第 1 希望にしている、非常に良い経験になった。」とおっしゃっておいりました。

### ■新月祭実行委員会イルミネーション責任者 福島智与子様

#### （国際学部 3 回生）へのインタビュー

Q. 今回のイルミネーションやプロジェクションマッピングの率直な感想をお聞かせください。

A. 比率等難しいところがあり、私たちではできないことがあったため、今回 SHADECOR 様にお任せ出来てとても良かったです。

Q. 綺麗に映ったとき、どのようなお気持ちでしたか。

A. ずっと涙が止まらなかったです。

Q. 今回の投影でプロジェクションマッピングへのイメージはどのように変化しましたか。

A. プロの人しか作れないと思っていたが、未経験者なりに映像制作ソフトで映像を作り、大勢の人に見てもらえることが出来るのか、といい意味で親近感が湧きました。



映像制作を担当された新月祭実行委員会の皆様

（左）南柊成さん（法学部 1 回生）

（中）木村泰己さん（社会学部 1 回生）

（右）金本和佳奈さん（国際学部 2 回生）



（左）末廣大樹（SHADECOR 代表）

（右）福島智与子さん（国際学部 3 回生）

### ■SHADECOR について

関西学院大学アカデミックコモンズプロジェクト・リードタイプとして、アカデミックコモンズプロジェクト創設時から活動をしているプロジェクションマッピング制作団体です。主に、外部クライアントより依頼を頂き、映像を制作しております。

2022 年度より、《『ソウゾウ』を超えるワクワクを》をテーマに掲げ、プロジェクションマッピング制作を通して、多くの人々に非日常を体験していただくということをコンセプトに活動しております。2013 年の創設時より、多くのご依頼を頂き、小学校、保育園、建築現場、パイプオルガンへの投影、大阪光のルネサンスなど様々な活動に挑戦しております。近年は投影技術提供のみの依頼も数件いただいております。これまでに経験したことのない「ワクワク」をお届けするため、制作活動を行っております。



### ■SHADECOR についてのお問い合わせ先

SHADECOR 広報部アドレス [shadecor.info@gmail.com](mailto:shadecor.info@gmail.com)